

様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和8年度第1回行田市郷土博物館協議会	
開 催 日 時	令和8年8月20日（木） 開会：午前10時00分 ・ 閉会：午前11時30分	
開 催 場 所	郷土博物館2階 会議室	
出席者（委員） 氏 名	櫻井真佐美 石崎昌稔 浦木賢治 滝澤布沙 青木恵美 大山能則 板垣時夫 宮本伸子 田村 均 末木啓介	
欠席者（委員） 氏 名	なし	
事 務 局	部長 長島浩司 館長 鈴木紀三雄 主査 篠田泰輔 主査 澤村怜薫 主任 岡本夏実	
会 議 内 容	令和8年度上半期事業報告 令和8年度下半期事業計画	
会 議 資 料	令和8年度第1回行田市郷土博物館協議会資料	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴人なし	
会 議 録 の 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 氏 名
	令和8年9月22日	大山 能則

発 言 者	会 議 の 経 過（議題・発言内容・結論等）
事 務 局 （ 篠 田 ）	1 開会 本日の出席について、委員 10 人のところ 8 人である。 （委員 2 名が途中参加） 行田市郷土博物館協議会条例第 7 条第 1 項で規定のとおり、過半数の出席を賜っているので開催する。 なお、本日の会議は公開となっている。（傍聴人なし） また、会議録は市政情報コーナー及び市のホームページで公開する。
事 務 局 （ 篠 田 ）	2 任命状交付 新委員に任命状の交付を行う。 生涯学習部長より、委員を代表して櫻井委員へ任命状を交付する。
	3 あいさつ 生涯学習部長 長島浩司 ・自己紹介（各委員・事務局）
事 務 局 （ 篠 田 ）	4 会長・副会長の選出 行田市郷土博物館協議会条例第 5 条第 2 項で規定のとおり、会長及び副会長は委員の互選とすることから、まず会長の選出について、委員の皆様へお諮りする。
田 村 委 員	会長に大山委員を推薦する。 〈全委員了承〉 ・会長あいさつ 行田市郷土博物館協議会 会長 大山能則
事 務 局 （ 篠 田 ）	続いて、副会長を選出する。行田市郷土博物館協議会条例第 5 条第 2 項で規定のとおり、大山会長に進行をお願いする。
大 山 会 長	行田市郷土博物館協議会条例第 5 条第 2 項で規定のとおり、副

	会長は委員の互選とすることから、委員の皆様へお諮りする。
田 村 委 員	副会長に板垣委員を推薦する。 〈全委員了承〉 ・副会長あいさつ 行田市郷土博物館協議会 副会長 板垣時夫
事 務 局 (篠 田)	5 議事 これより議事に入る。行田市郷土博物館協議会条例第 6 条第 1 項の規定のとおり、進行は会長にお願いします。
大 山 会 長	では、次第に従って議事に入る。 まず（１）の令和 8 年度上半期事業報告について事務局より説明をお願いします。 （事務局より、管理部門 資料を説明） （事務局より、学芸部門 資料を説明）
大 山 会 長	ただいま事務局より説明があったが、これについて質問や意見等があったらお願いします。
板 垣 副 会 長	寄贈資料の荒木村富士先達秋山家資料一括の内容を教えてほしい。また館蔵資料デジタルアーカイブは、膨大な資料の中から年間で計画的にどれくらいアップしているのか。
事 務 局 (澤 村)	現在の荒木地区にある秋山家が江戸時代後期くらいから富士浅間社の先達を担っていた。資料は古文書だけでなく、お札の版木類、携えていた道具類、羽織っていた衣服類など極めて良好な状態で寄贈された。
事 務 局 (岡 本)	館蔵資料デジタルアーカイブは年間 8 0 ～ 1 0 0 件の資料を追加している。
末 木 委 員	入館者が 2, 4 2 2 人増加した手応えや原動力を教えてください

	い。また note は SNS に類するものか。その反応はいかがか。
事務局 (鈴木)	行田全体の観光客の入れ込み客数が上がっているという話があり、それが影響しているのかと思う。
事務局 (岡本)	note は簡単に言うとブログのようなもの。行田市教育委員会 note 全体の記事の閲覧数は 15,626 件で、共感や賛同を表す数は全体で 1,316 件である。
滝澤委員	寄託と寄贈の違いは何か。
事務局 (澤村)	寄託は、一定の期間を定めて、その期間に館の事業に活用することを事前に説明して、預かるもの。そのため、期間が満了になれば更新するか、または返却するかという判断になる。それに対して、寄贈は、所有権を当館に譲るものになる。
大山会長	寄託の期間はどうか決めるのか。
事務局 (澤村)	所有者との協議による。
浦木委員	デジタルアーカイブについて、閲覧可能な資料が現在 421 件だが、非公開資料についてもデータベースとして I.B.MUSEUM を活用しているのか。
事務局 (岡本)	現在は、公開が可能な資料を掲載する運用である。いわゆる資料台帳はオフラインのデータで管理している。
浦木委員	今後、資料台帳の代わりに I.B.MUSEUM に移行していくか。
事務局 (澤村)	デジタルアーカイブを導入する段階で、資料台帳のフォーマットを揃えた形で運用を開始しているため、いつでも移行できる。
事務局 (鈴木)	確かにテキストデータを入れることはできるが、資料台帳には個人情報などが含まれており、ヒューマンエラーでデータが外部流失した際には大問題になるので、外部のクラウドに入れるこ

	とはできないと現状では考えている。
浦 木 委 員	展示履歴や出品履歴なども I.B.MUSEUM の中に蓄積していけるサービスである。博物館の事業の歴史や記憶を残す意味でも、うまく活用していったほしい。
田 村 委 員	小学校の連携で秩父市の小学校が来ていて、3年生の社会科見学か、4年生の埼玉県の学習なのか。秩父市の小学校が博物館へ見学に来たきっかけや理由を教えてほしい。
事 務 局 (篠 田)	3・4年生の合同で見学に来た。きっかけや理由などは先生に聞いていないので、わからない。
田 村 委 員	非常に貴重なありがたい事例だと思う。小学校の先生に行田に来た理由や、行田に来て子供たちはどうだったのかなどを聞きたい。
石 崎 委 員	子供たちはまだ、忍城がすごい城というイメージができていない。行田に生まれ育った子供たちには、忍城の良さとか価値を知ってもらいたい。しかし、社会科もボリュームがあり、忍城だけを何時間も取り上げることはできていないことは課題であると思う。
櫻 井 委 員	小・中学校ではふるさと学習の中で忍城に触れる機会があるので、子供たちが興味をもってもらえればと思う。また秩父から来て博物館見学で学びが多いと感じれば、教員のネットワークで博物館の良さがさらに広がるとよいと思う。
石 崎 委 員	ソニックシティでの出張展示の反響を教えてほしい。行田の日本遺産を続けるのに県内でアピールするのは、非常に大事で素晴らしいと思う。
事 務 局 (澤 村)	残念ながら、反響が直接当館には届いていない。ただ設営・撤収の時や、展示の状態を確認しに行った時に、通行する人が結構足を止めて見ていたので、ある程度反響があったと思う。

大 山 会 長	「足袋をはいて博物館へ」という事業があるが、来館者はどのような足袋を履いてくるのか。
事 務 局 (岡 本)	柄足袋もあるが、白足袋を履いてくる来館者もいる。
大 山 会 長	では、(1) の令和8年度上半期事業報告については終了する。次に、(2) の令和8年度下半期事業計画について事務局より説明をお願いします。 (事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明)
大 山 会 長	ただいま事務局より説明があったが、これについて質問や意見等があったらお願いします。
浦 木 委 員	保存修復は毎年行っているのか。
事 務 局 (澤 村)	優先度の高い資料を選定し、毎年行っている。
浦 木 委 員	今年度、保存修復を行う掛軸とはどのようなものか。
事 務 局 (澤 村)	掛軸とあるが刀剣も候補になっており、今後の展示予定を加味して、優先度の高い資料を協議の上で決定する予定である。
宮 本 委 員	「忍城ガイドブック」とは、どのようなものを作る予定か、差し支えない範囲で教えてほしい。
事 務 局 (澤 村)	内容はこれから学芸員で詰めていく。体裁は手元に持って歩いてもらいたい意図がありA5版としている。また安価な価格に抑えたいということもあり、閉じ方もホッチキス止めで真ん中を留めるような形にする予定。なかなか城跡が残ってない城について、少しでも理解できる内容にしたいと考えている。
滝 澤 委 員	冬の収蔵品展について。川島奇北の後の時代と聞いているが、

	足袋商人は文化度が高く、俳句の集まりも多く、なかには鼓を叩きながら、舞いを踊ったという。その商人の文化と武士の文化では異なる形になると思うが、展覧会は忍藩士に絞って行うのか。
事務局 (鈴木)	今年度の展示は、当館所蔵の忍藩士黒沢翁満や寺崎梅坡などが残した書画類を展示する予定である。近代の資料については、須加の川島家資料が寄託されているので、その資料の整理が進めば今後の展覧会に活用できると思う。
大山会長	他に意見等なければ、以上で議事を終了する。 議長の任を解かせていただく。
事務局 (篠田)	それでは、閉会の挨拶を副会長よりお願いします。 6 閉会 行田市郷土博物館協議会 副会長 板垣時夫 ※第36回テーマ展「行田のまちなみと商い」展示見学 以上